



2019(平成31)年度

アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験

募集要項

第一次選抜への出願者用

東北学院大学の3つの方針

①入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
3. 高等学校における学修によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)
4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(学修への態度)

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点												
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎：特に重視、○：重視)重視する。												
		一般入試	センター試験利用入試	英語外部試験利用入試	AO入試	学業推薦入試	資格取得推薦入試	キリスト者等推薦入試	スポーツ推薦入試	文化活動推薦入試	TG推薦入試	外国人留学生特別入試	社会人特別入試	帰国生特別入試
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	◎	◎								
	3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	◎	◎	◎	○	○								
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。(知識・技能)	◎	◎	◎	○	○								
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	○	○	◎	◎	◎								
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)							◎	◎					
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)				○	○						◎	◎	◎
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○								
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		◎	◎								
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。(知識・技能/学修への態度)	知識	○	○										
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	知識	◎	◎										
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○										
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭												
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)											◎	◎	◎
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○								
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		◎	◎								
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。(知識・技能/学修への態度)	知識	○	○										
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	知識	◎	◎										
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○										
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭												
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)											◎	◎	◎

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点															
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎：特に重視、○：重視)重視する。															
		一般入試	センター試験利用入試	英語外部試験利用入試	AO入試	学業推薦入試	資格取得推薦入試	キリスト者等推薦入試	スポーツ推薦入試	文化活動推薦入試	TG推薦入試	外国人留学生特別入試	社会人特別入試	帰国生特別入試			
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○						◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		◎	◎											
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正しい知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	知識	○	○													
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき水準の英語力がある。(知識・技能)	知識	◎	◎													
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○													
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭															
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)																
工学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○											
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度/学修への態度)	○	○		◎	◎											
	3. 高等学校における学習によって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	◎	◎														
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	◎	◎														
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	○	○		◎	◎											
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)																
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/学修への態度)				○	○											
教養学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○											
	2. 教養学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、教養学部及び各学科での学びを強く望んでいる。 人間科学科では、人間に対する探究心をもち、学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。 言語文化学科では、母語及び2つの言語について学ぶ意欲を強く持つとともに、言語と文化をめぐって探究する諸分野についての確かな理解と興味を有している。 情報科学科では、情報の起源や特徴などの本質に関して学んだのち、情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。 地域構想学科では、「よりよい地域づくり」に強い関心と意欲を持ち、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できる。 (主体的に学ぶ態度)	○	○		◎	◎											
	3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。(知識・技能)	○	○		◎	◎											
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	◎	◎														
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○													
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭															
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)				○	○											

②学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど)及び英語力を身につけ、活用することができる。
3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
地域の課題をはじめとする様々な具体的な課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

③教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果(以下「学修成果」という。)を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

目 的

アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験の目的は、本学の建学の精神と教育方針を理解し、本学への入学と勉学に強い意欲をもつ方のなかから、多面的かつ総合的な審査・評価を通じて、本学入学者にふさわしい方を選抜することにあります。

募集定員

学 部	学 科	A日程	B日程	学 部	学 科	A日程	B日程
文 学 部	英 文 学 科	30名	5名	工 学 部	機 械 知 能 工 学 科	10名	2名
	総 合 人 文 学 科	5名	1名		電 気 電 子 工 学 科	10名	2名
	歴 史 学 科	20名	2名		環 境 建 設 工 学 科	16名	2名
	教 育 学 科	3名	1名		情 報 基 盤 工 学 科	10名	2名
経 済 学 部	経 済 学 科	33名	2名	教 養 学 部	人 間 科 学 科	12名	2名
	共 生 社 会 経 済 学 科	33名	2名		言 語 文 化 学 科	10名	1名
経 営 学 部	経 営 学 科	42名	2名		情 報 科 学 科	12名	2名
法 学 部	法 律 学 科	30名	4名		地 域 構 想 学 科	12名	2名

出 願 資 格

次のすべてに該当する方です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2019(平成31)年3月までに卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2019(平成31)年3月までに取得見込みの方
- (2) 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意志のある方
- (3) 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

選 抜 方 法

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して最終的合否を判定します。

第一次選抜

- (1) 最初に「第一次選抜審査申請書」など出願書類を提出し、それをもとに書類審査と面接を行います。面接日時は出願期間終了後に決定し、「第一次選抜面接日時のお知らせ」を出願者へ返信用封筒で郵送します。あわせて学校へもFAXで通知します。ただし、書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。

- (2) 書類審査と面接(経済学科はグループ・ディスカッションおよび面接、地域構想学科はプレゼンテーションおよび面接、情報基盤工学科は数学I・IIについて質問)によって、A、B、C、Dの4段階で評価します。評価結果は評価通知日に発送し、学校を通して出願者に通知します。既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格者等については直接本人に通知します。
- (3) 評価は出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかについて、多面的・総合的に行います。
英文学科では英語外部試験[英検、GTEC CBT、GTEC(3技能、4技能)、GTEC for STUDENTS(L&R+W、L&R+W+S)、IELTS、TOEIC+S&W、TOEFL iBT、TEAP(RLWS)]の成績を第一次選抜の得点に反映させます(2年以内に受験した試験の成績を利用可能とします)。

第二次選抜

- (1) 合否判定は小論文・面接の結果と第一次選抜における評価を総合して行い、最終的な合格者を選抜します。

試 験 内 容

第一次選抜

(1) 面 接

基本的に個人面接形式で行います(30分程度)。出願した学部学科の学生として望まれる学力、意欲、適性をどの程度もっているかなどについて質問をします。学科によっては独自の方法をとることもあります。

経済学科はグループ・ディスカッションを実施し(40分程度)、その後に個人面接を行います(20分程度)。グループ・ディスカッションでは資料を配付し、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめ、その後30分で出題されたテーマについて討論を行います。グループは4人1組を原則とします。

地域構想学科は個人面接のなかで「よりよい地域づくり」を主題とする5分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。自分で作成した紙面による資料等を用意しても構いません。

情報基盤工学科は個人面接のなかで数学I・IIの質問に答えてもらいます。

第二次選抜

(1) 小論文

【文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部】

与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分：800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分：600字程度)

(2) 面 接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)

試 験 日 程

		第一次選抜			第二次選抜		
		出願期間	面接期間	評価通知日	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	I期	8月17日(金)～8月23日(木) 15時必着	9月3日(月)～9月13日(木)	9月20日(木)	11月1日(木)～11月7日(木) 15時必着	11月15日(木)	11月24日(土)
	II期	9月21日(金)～9月28日(金) 15時必着	10月10日(木)～10月20日(土)	10月26日(金)			
B日程		11月21日(木)～11月27日(火) 15時必着	12月3日(月)～12月6日(木)	12月10日(月)	12月11日(火)～12月17日(月) 15時必着	12月22日(土)	12月28日(金)

《出願上の注意》

- A日程は2回の出願期間のうち、出願できるのは1回のみです。都合の良い期間に出願してください。
- A日程に出願した方は、B日程で同じ学科には出願できません。
- 出願は締切日の15時必着です。
- 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

試 験 場

	文学部・経済学部・経営学部・法学部	教養学部	工学部
第一次選抜	土樋キャンパス		泉キャンパス
第二次選抜	A日程	泉キャンパス	
	B日程	土樋キャンパス	

出願手続

第一次選抜

出願書類

- ① 第一次選抜審査申請書 (A 3判)
- ② 第一次選抜志願票 (B 5判)
- ③ 指定の返信用封筒 (定形)
出願者の住所・氏名を宛先として明記し、362円分の切手を貼付したもの
- ④ 出身学校の調査書等 (高等学校もしくは中等教育学校卒業見込みの方は不要です)

出願資格		調査書等
学校を既に卒業した方		出身学校の「調査書」(厳封されたもの)
高等学校卒業程度 認定試験	受験している方	「受験票のコピー」
	既に合格した方	「合格成績証明書」(厳封されたもの)

《出願手続上の注意》

- 出願書類は必ず本学所定の封筒を使用し、簡易書留郵便で送付してください。

第二次選抜

- (1) 第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が、第二次選抜へ出願できます。
- (2) 第二次選抜募集要項は、第一次選抜の評価を通知する際、該当する方に送付します。
第二次選抜の出願手続は、第二次選抜募集要項にしたがって行ってください。

受験上の配慮について

障がいがある方で本学を受験する場合は、出願前(入学検定料納入前)のできるだけ早い時期に必ずアドミッションズ・オフィス(入試課)へ連絡してください。本学のキャンパスを見学することをお勧めいたします。また、障がいがある方や病気・負傷のため受験上および修学上の配慮を希望する場合は、下記の要領に従って申請してください。なお、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

申請方法	本学所定の「受験上の配慮申請書」と「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを添えて申請してください。
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス(入試課) TEL: 022-264-6455 FAX: 022-264-6377

入学検定料

第一次選抜：無 料 第二次選抜：33,000円

試験当日

《第一次選抜受験上の注意》

- (1) 面接日時・受付場所は「第一次選抜面接日時のお知らせ」を確認してください。
- (2) 面接開始時間の20分前までに受付を済ませてください。
- (3) 受験をやめる場合、遅刻しそうな場合は、必ず電話で受付場所まで連絡してください。
- (4) 「第一次選抜面接日時のお知らせ」、筆記用具、身分証明書を持参してください。その他、自分の実績や資格などを証明するもの(資格取得を証明する書類、賞状などのコピー)があれば持参し、面接の先生に提出してください。
英文学科受験者で、英語外部試験の成績証明書を保持している方は、面接時に持参してください(証明書のコピーは不可)。

「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、毎朝10:25～10:45の20分間、本学礼拝堂において、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く大学礼拝が行われます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。第二次選抜試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が応対いたします。

結果の発表

第一次選抜(評価)

評価通知日の消印で郵送し、学校を通して出願者本人に通知します。既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格者等については直接本人に通知します。

第二次選抜(最終的合否)

A日程：2018(平成30)年11月24日(土) 14時

B日程：2018(平成30)年12月28日(金) 11時

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時(B日程は11時)からは合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォン、携帯電話、電話で合否を確認することができます。

なお、出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格は取り消されます。

入学手続

入学手続は、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了となります。詳細は合格通知書に同封される「入学手続要項」を参照してください。

入学手続期限

A日程：2018(平成30)年12月14日(金) } 15時必着 ※郵送・窓口受付
B日程：2019(平成31)年 1月16日(水) }

学生納付金等

[2018(平成30)年度参考] (単位：円)

項目	学部 文学部英文学科・総合人文学科・歴史学科 経済学部・経営学部・法学部			工 学 部			文学部教育学科 教 養 学 部		
	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後期 (10月) 納付金	合 計
* 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	370,000	370,000	740,000	519,000	519,000	1,038,000	417,000	417,000	834,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料				35,000	35,000	70,000			
学 納 金 計	730,000	460,000	1,190,000	939,000	669,000	1,608,000	797,000	527,000	1,324,000
後 援 会 費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
*同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同 窓 会 費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,200	0	1,200				1,200	0	1,200
工 学 会 費				500	0	500			
*学生会入会費	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学 生 会 費	6,000	0	6,000	8,000	0	8,000	6,000	0	6,000
諸 会 費 計	30,200	0	30,200	32,500	0	32,500	30,200	0	30,200
合 計	760,200	460,000	1,220,200	971,500	669,000	1,640,500	827,200	527,000	1,354,200

【注意】

- ① 2019(平成31)年度入学生については、上記の金額が変更されることがあります。
- ② *印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は入学後10月に納入することになります。
- ③ 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中(翌年度以降)に改定されることがあります。
- ④ 入学翌年度からの学生納付金は、前期(5月)と後期(10月)の2期に分けて納入することになります。

教育学科・経営学科・電気電子工学科・情報基盤工学科・情報科学科では、授業でノート型パソコンを使用いたします。詳しくは、入学手続の際にお知らせいたします。

AO入試における重要評価点（学科別）

学部・学科	重要評価点	
文学部	英文学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な学力の裏付けがあること。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること（第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある）。英語外部試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書（コピー不可）を第一次選抜の面接時に持参すること。 知的好奇心が旺盛であること（第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある）。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉強プランをもっていること。
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉強に強い意欲を有していること。 英語をはじめとした基礎学力を有していること。 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもっていること（第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある）。 社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。
	歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> 歴史に関する基礎知識を有していること。 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること（第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある）。 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。
	教育学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。 人の学びと教育に関して、強い関心をもっていること。 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉強に関するプランをもっていること。
経済学部	経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 基礎学力が十分にあること。 経済学科の理念、教育目標・到達目標について理解していること。 経済学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしていること。 社会・経済の動きに強い関心をもち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲をもっていること。 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。
	共生社会経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 共生社会経済学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 共生社会経済学科で学びたいという明確な意志をもっており、それを自分の言葉で表現できること。 ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に、積極的に取り組もうとする意欲をもっていること。
経営学部	経営学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学部で学ぶための基礎学力があること。基礎学力とは、国語・数学・英語の学力である。 本学部を志望する経緯について明確に説明できること。 本学部に入学することによって何を学ぼうとし、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、説明できること。 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、自ら進んで調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること。
法学部	法律学科	<ol style="list-style-type: none"> 学力が本学法学部で学ぶための水準に達していること。 本や新聞などを通して、社会への関心と知識をもっていること。 法学部で学ぶ内容を理解しており、そのうえで、本学部での勉強を行う十分な意欲をもっていること。 またこうしたことを、筋道を立てて自分なりの言葉で表現できること。 <p>※面接の際には、読書アンケートを実施することがある。</p>
工学部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。 AO入試により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。 学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉強に対する意欲をもっていること。
	電気電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> 電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、AO入試を選択した理由、勉強動機と目標を明確に説明できること。 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもっていること。
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> 環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。 環境、土木、建築で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意欲があること。 環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。
	情報基盤工学科	<ol style="list-style-type: none"> IT分野に強い関心があり、日常から関連分野の知識を習得する意欲があること。 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有すること（面接では数学Ⅰおよび数学Ⅱについて質問します）。 本学科で学ぶ心構えと意欲があり、かつ計画的な学習ができること。
教養学部	人間科学科	<ol style="list-style-type: none"> 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。 人間や社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。
	言語文化学科	<ol style="list-style-type: none"> 英語をはじめとした基礎学力を有していること（第一次選抜の際、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある）。 ドイツ語、フランス語、中国語、あるいは韓国語・朝鮮語を、第二外国語として学ぶ強い意欲があること。 言語と文化をめぐって探究する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化（衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など）や表現文化（文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など）について、的確な理解と興味を有していること。 自分の考えや興味関心を、筋道を立てて説明できること。
	情報科学科	<ol style="list-style-type: none"> 大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの科目に強い関心をもっていること。 情報科学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。 自分の考えについて、筋道を立てて自分なりの言葉で表現できること。
	地域構想学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。 「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探求・解決しようとする意欲があること（第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう）。 校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、そのことをアピールする表現力と説得力をもっていること。 将来も地域に積極的にかかわっていかこうとする明確な目的と意欲をもっていること。

「第一次選抜審査申請書」、「第一次選抜志願票」記入上の注意

1. 記入にあたっての一般的注意

- 出願者本人が記入してください（「指導教員の所見欄」と「学校における評定平均値」は除きます）。
- ボールペンを用い、黒または青のインクで書いてください。
- 楷書でていねいに書いてください。修正の際は、~~修正~~のように二重線を用いて修正し、訂正印を押してください。修正液等は使用しないでください。
- 「審査申請書」の質問について、与えられた行内におさまるように記入してください。書くことが多い場合には、内容をまとめて記入してください。
- 「志願票」は、同じ大きさ（B5判）であれば、コピーしたものに記入し出願してもかまいません。

2. 「出身校」の欄について

- 高等学校もしくは中等教育学校卒業（または卒業見込み）以外の方、たとえば高等専門学校3年修了や高等学校卒業程度認定試験（大検合格含む）で受験資格を取得（または取得見込み）の方は、この欄を利用し、適宜修正して書いてください。

3. 「現住所」の欄について

- 現在住んでいて、すぐに連絡のとれる住所・電話番号を記入してください。

4. 「現在の身分」の欄について

- 社会人の方は、[] 内に職業も記入してください。無職の場合は無職、主婦の場合は主婦と記入してください。
- 1～4のどれにも該当しない方は、5. その他の [] 内に具体的に記入してください。

5. 「指導教員の所見欄」について

- 高校生・中等教育学校生・予備校生の方は、現在在学する学校・予備校の指導教員に記入してもらってください。（高校生・中等教育学校生・予備校生以外の方は、この欄への記入は不要です）
- 所見を記載する教員は、出願者を何らかの形で指導している教員（クラス担任や部活動顧問の先生等）であれば誰でもかまいません。ただし、出願後、出願者と本学との連絡を仲介できる教員です。

6. 「学校における評定平均値」について

- 高校生・中等教育学校生については教員が記入し、出願する時点で最新の評定平均値を記入してください。
- 「全体の評定平均値」のほかに、評定平均値の高い5教科（5科目ではない）について教科名と評定平均値を記入してください。ただし、下記の学部学科へ出願する場合は、指定された教科の評定平均値を必ず記入してください。

学部・学科	教科
文学部 英文学科 教育学科	「外国語（英語）」
経営学部 経営学科	「国語」「数学」「外国語（英語）」
教養学部 情報科学科	「数学」
工学部 全学科	「数学」「理科」

- 既卒者と高等学校卒業程度認定試験受験者または合格者等は、この欄への記入は不要です。

個人情報について

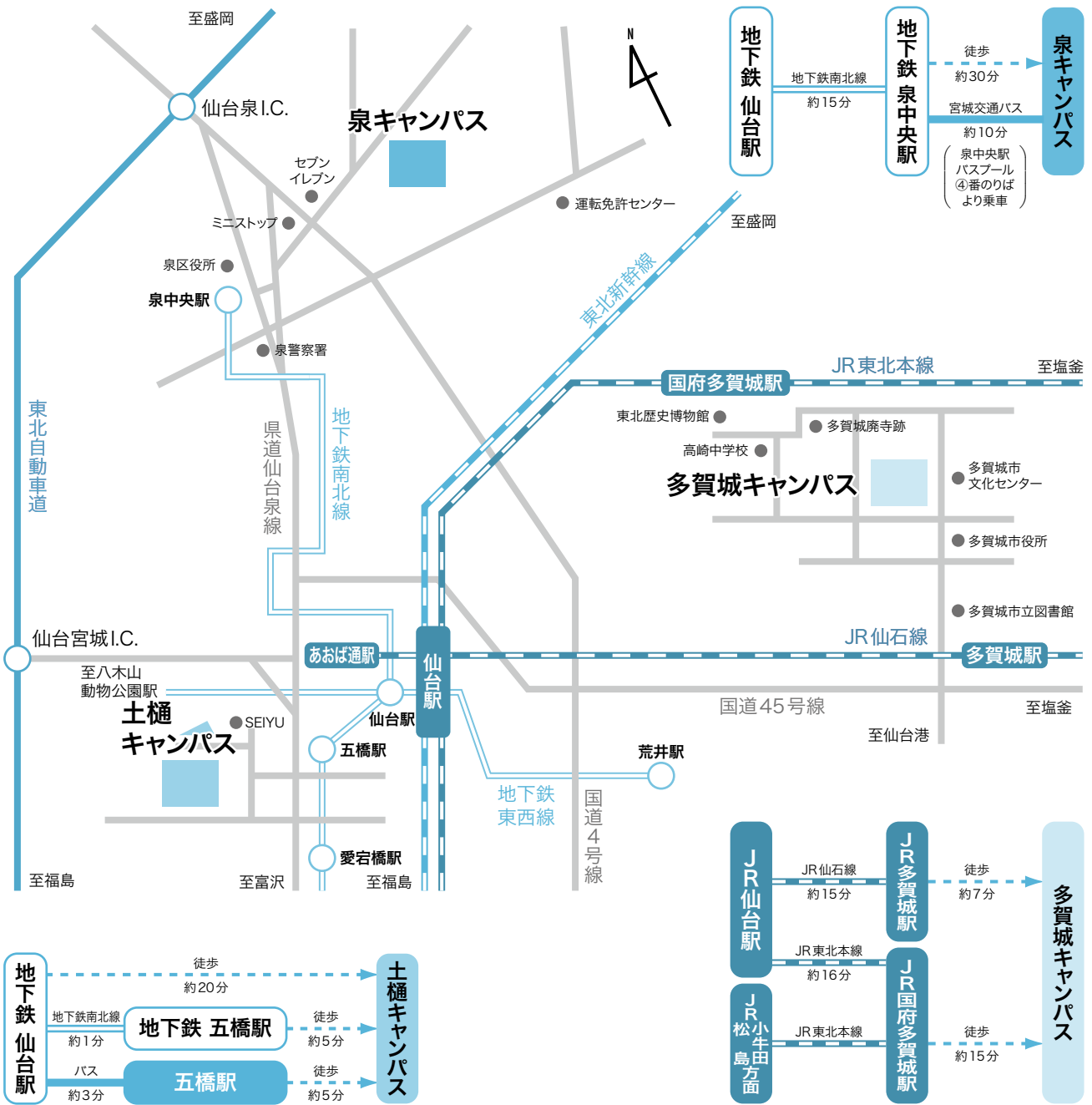
出願時においてご記入いただいた個人情報あるいは試験結果については、厳重に管理します。個人情報を、面接の連絡や評価の通知以外の目的に利用することはありません。

試験場案内図

泉キャンパス 教養学部の面接

土樋キャンパス 文学部・経済学部・経営学部・法学部の面接

多賀城キャンパス 工学部の面接



東北学院大学 アドミッションズ・オフィス (入試課)
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 TEL: 022-264-6455
 FAX: 022-264-6377